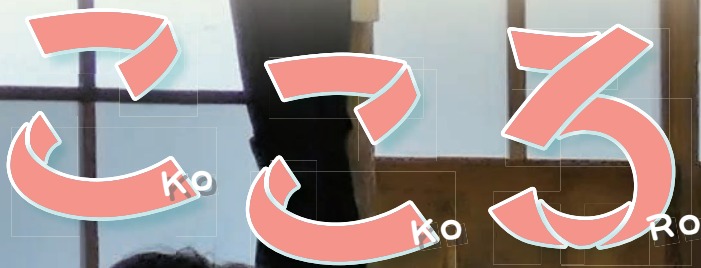


社協だより



手と心
つないで築く
京丹後

令和6年1月10日発行
第97号

みんなで子育て つながる地域の子育て支援

(大宮町周枳地区 周枳すきすきクラブ)

表紙関連記事 4 ページに掲載

● 目 次 ●

2P~3P 新年のあいさつ

4P~5P 地域の子育て支援

6P ボランティア活動の紹介

7P お知らせ

8P あいたん広場

子どもから高齢者まで地域全体で支える仕組みや

環境づくりにむけて

社会福祉法人

京丹後市社会福祉協議会

会長 藤井 美枝子



新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され、それに伴い社会・経済活動が活発化し、着実に賑わいを取り戻しつつあると感じているところです。

他方、市内ではコロナ禍や一昨年から物価高騰などの影響で、生活維持が難しい家庭も多く存在するほか、これまでから少子高齢化や人口減少がもたらす影響として、家族形態の変化や人と人とのつながり

の希薄化が進行しており、子育て不安や児童虐待、ひきこもり、コミュニティの担い手不足など課題は多様化、複雑化してきています。

本会では、「地域とのコミュニケーションの強化」をテーマに、一昨年から地域共生ステーション事業を進めており、市役所と連携して地域に入り、相談業務や課題検討など包括的な支援を展開したほか、サロン活動やボランティア活動の支援、地域住民を対象にしたシニアデビュー講座を開催するなど、福祉活動やボランティアの担い手育成を進めてきました。

新たな取り組みとしては、生活等の相談の初期段階から支援できるように、食品や日用品を提供するフードパントリーを常設化しました。これには、市民が日常的に身近な場所でも食品等の寄付のできる場所「フードドライブ」が必要であり、

(株)ファミリーマートに協力を依頼し、市内のファミリーマート峰山町杉谷店と本会の各支所で受け入れを実施しています。

また、昨年は市のケーブルテレビでの健やか生きがい教室の放映や広報紙の充実、そして地域共生ステーションの活動などを通じて「社協の見える化」に取り組んだところ、地域のかたからお声をかけていただく機会が増えました。

令和6年度は、団塊の世代の多くが75歳以上の後期高齢者となる2025年以降を見据え、介護保険法などの改正が行われます。

これにより、介護報酬の改定や福祉職場のICT化、人材確保などの検討とあわせて地域包括ケアの深化などが図られます。今後は、高齢者の人口が増える一方、生産年齢人口の減少により、福祉や介護に携わる人材確保が難しくなるなか、福祉

の分野をこえた包括的な支援が求められています。

このような中、本会では市と連携して策定した「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を基に、「誰ひとり置き去りにしない『真の地域共生社会』の実現」「百才活力社会の推進」「SDGsの推進」の三つの視点から、人づくり、仕組みづくり、場づくり、環境づくりを推進していきます。

本会としても、子どもから高齢者までの広い範囲で、地域のささえあい活動を一層推進するほか、地域全体で支える仕組みや環境づくりを進め、地域福祉の充実と発展に努めてまいりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた心穏やかな一年となりますように、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

ささえあい、たすけあい、あたえあい

“大きな和”の力で喜びと感謝あふれる未来を育む

―京丹後市誕生20周年の年をお迎えして―

京丹後市長

中山 泰



あけましておめでとうございます。

今、世界では、イスラエルとハマスの大規模戦闘が勃発しロシアのウクライナ侵攻も依然終息に至らず、ともに一刻も早い、戦闘の停止、平和的解決と平和の回復を市民の皆様と共に心から求め、祈念をしております。

日頃から藤井会長様はじめ役員、会員の皆様には、様々な分野で地域の社会福祉の推進を積極的にけん引いただくとともに、安心と笑顔が広がる社会づくりに多大なご貢献をくださり、心より感謝を申し上げます。

昨年はコロナも概ねには収束を得て、アフターコロナへ向け本格的に再スタートいたしました。貴会におかれては、コロナから社会が回復途上にある中で、生活にお困りの世帯に食品・日用品等を配付下さる「フードパントリー」の常設化に踏み切られるとともに、高齢者等見守りネットワーク事業にも積極的に取り組まれるなど、誰ひとり置き去りにしないまちづくりをその中心となつて進めてくださり、深い敬意を申し上げます。

市としても、貴会とご一緒に、「地域共生ステーション」を弥栄町、久美浜町に加え、昨年は網野町と丹後町に広げ、福祉相談窓口の設置と支え合いの環境づくりを進めましたほか、久美浜病院の

整備構想づくりなど医療体制整備、新たな地域コミュニティづくりなど、生活現場に密着を第一大切に、しっかりと様々な取り組みを進めております。

いよいよ本年4月には、新市誕生20周年の大きな節目を迎えます。今、デジタル化、ウェルビーイングへの社会的志向など京丹後にとつて大きな時代の追い風と共に、万博に向け本市の百歳長寿に恵まれた「健康長寿」がきっかけとなり万博の本場・大阪観光局との画期的な連携もスタートいたします。京丹後には考えつくせないほど夢と可能性、豊かさ、幸せのタネが満ちあふれています。「課題・困難」は「宝」をその裏や底から見た姿です。困難が入り口でも工夫と努力で奥座敷まで

進めば宝の原石が据えられています。ささえあう、たすけあう、あたえあう、みんなの大きな和の力で喜びと感謝あふれる未来へ歩みを進めてまいります。

本年が貴会はじめ市民の皆様にとつてますます喜びの多い豊かな年でありますこと心から慶び、お祈り申し上げます、新春のごあいさつとさせていただきます。



地域の子育てに関する取り組みの紹介

最近、妊娠中の人や子育て世代からは、「妊娠中や出産後に必要な子育てサロンやイベントを集約するサイトがない」「週末子どもたちと一緒にどこにいったらいいのかわからない」といったお話を聞きます。

また、結婚や転勤等で、慣れない土地での出産・子育てを経験される人もあり、「周りに頼れる人がいない」「相談できる人がいない」「活用できる施設やサービスもわからない」などの状況に陥りやすく、孤立の原因となります。

こうしたことから、今回は、子育てに関する地域の取り組みの一部を紹介します。

福祉委員による地域の 子育てサロンの活動

市内では、子育て世代（家庭）を地域で支援するために、福祉委員を中心に地域の公民館などで子育てサロンの活動をしています。

市内で福祉委員が行っている子育てサロンは、大宮町の「□大野にこにこサロン」、「奥大野さくらんぼクラブ」、「上常吉すくすく」、「周知すきすきクラブ」、「河辺グーチョキパー」、「善王寺ぴよぴ

よ」と、丹後町の「宇川子育てサロン」の計7カ所あります。今回は、大宮町の「周知すきすきクラブ」を紹介します。

周知すきすきクラブ

大宮町周知地区のいこいの広場「遊楽」では、金曜日に周知地区福祉委員会主催の子育てサロン「周知すきすきクラブ」を開催しています。

福祉委員と担い手さんで運営



元気に遊ぶ子ども達

されており、保育所入所前の子どもと保護者が遊びに来ています。サロンで出会った親同士が仲良くなり、情報交換や交流ができる場として活用され、参加者同士のつながりが広がっています。

現在では、親同士のネットワークでサロン情報が広がり、別の地域からの参加者が増えるなかで、サロンの運営に関する考え方も変化し、以前は、サロンに参加さ

れた親にゆつくりしてもらったために担い手が子どもを預かっていましたが、今後は、サロンに来た親が主体となって交流できるサロンになってほしいと願って活動されています。

（問合せ先：京丹後市社会福祉協議会大宮支所642037）

地域の子どもたちに関する活動

子育てサロン イロドリ

重症心身障がい児とその家族を対象にした子育てサロン「イロドリ」は、毎月1回程度、水曜日に網野町の元旅館「月庭」で活動を行っています。

代表者の金安さんは、以前は相談できる当事者家族が身近にいないことに不安を感じていましたが、「ゆるりら」※に参加する中で他の当事者家族の存在を知り、つながることができたことが、「イロドリ」をはじめのきっかけとなりました。



サロンの皆で子ども達の誕生日を祝う

※「ゆるりら」・・・定期的に親子ふれあいサロンや子育て関連イベント、悩み相談を開いている子育て支援団体

問合せ先



Instagram
QRコード



公式LINE
QRコード

サロンは当事者家族同士の出合いの場であり、情報交換やコミュニケーションの場という役割を担っています。
将来的には、障がいの有無を問わず、様々な人が関わる場となることを目指しています。

ぱんぷきつず

平成16年に与謝の海支援学校大宮PTAの有志保護者が仲間と過ごす放課後学童としての「ぱんぷきつず」を立ち上げ、現在は年4回・週末にアグリセンター大宮を中心に活動を行っています。

子ども達の障がいを理解し、声をかけてくれるような地域の協力者を増やすため、サロンという誰もが参加しやすい形式で、お互いが支え合える関係の輪を広げたいという思いでサロン活動を行っています。

かつて、自分の子どものことだけで精一杯だった親が、他の子どもの障がいを知り、その困難さに向き合うことで他の親の苦悩に触れ共感したり、自分の子どもへの関わりをもっと深く考えたりするようにもなってきたそうです。

また、どんな参加者にとっても、周りの多様な人々を意識して一緒に活動することで、「自分の役割・やりがい」につながる場所、子ども達も自立への力を育てることができるところとなっています。



親子で一緒にパンづくり

(問合せ先：担当川村さん681-347)

特定非営利活動法人(NPO法人)
ハーブとスローフードの
まちづくり

平成27年に設立し、子ども達の居場所を作ることで孤独や孤立の防止に取り組み、親子で触れあう居場所の提供のほか、食と健康の啓発活動や自然体験、文化体験、地域交流や社会体験など広い範囲で、さまざまな分野の活動に取り組んでいます。学習サロンに参加している子ども達の食事提供をするなど、

問合せ先



ハーブとスローフード
HPのQRコード

こども食堂としての役割を担っているほか、地域交流では、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層による交流の場も提供しています。

また、活動に参加している参加者の中には、さまざまな理由から生活課題を抱えた子ども達がいることから、教育機関や行政などへ情報提供をしたり、子ども達には、支援物資の配付を行っています。



自然にふれるフラワーアレンジメント体験

『楽しい』から始まる ボランティア活動

あなたの得意なことや好きなことを活かして
ボランティア活動をはじめてみませんか？

本会では、ボランティア活動をした人ボランティアを必要とする人のコーディネートを行うボランティアセンターを運営し、現在78団体、個人25人の登録があります。

ボランティア活動を通じて、支え合える地域づくりを目指していますが、必要とされるボランティアはさまざまであり、本会では自分の経験や趣味を活かしたボランティアを求めています。

今回は、自分の特技を活かした峰山町の個人ボランティアを紹介します。

ミシンボランティア

小谷 浩美さん
(峰山町)



ボランティアのきっかけは、社協の裁縫ボランティアの募集を見て、ミシンでのボランティアなら私でも協力できそうと思ったことでした。
便利で役に立つものを工夫して作成したり、好きなことを集中して行うことで脳が活性化するので、活動することが健康維持にもつながると思います。
ボランティアは初心者ですが、ミシンを使うことが好きなので、楽しく活動できています。

モノづくりボランティア

山本 泰弘さん
(峰山町)



昔からモノを作ることが好きで、人に頼まれたものを作っていたら、□コミでどんどん広がり、いろいろなことを頼まれるようになりました。

今では社協のレクリエーショングッズの修理をしたり、地域でそば打ち体験の先生をしたり、地域サロンで自家製そば粉のガレットを作って提供したりと、さまざまなボランティアに挑戦しています。

ボランティアをしているというよりは、時間があるときに出来る範囲でできることをしているのですが、今後何か自分にできることがあれば協力して

小谷さんが作成した車イス用カバンと
クッションカバー(福祉施設用)



山本さんが作成したベンチ(公民館設置)
と得点表(社協貸出レクリエーション用)

いきなたいです。皆さんが喜んでくれると嬉しくなります。
ボランティアは何か特別なことをしなければいけないことはなく、自分たちができることで気軽に楽しく参加できる活動です。皆さんの「得意なこと」「好きなこと」が誰かのためにつながるかもしれません。
皆さんも、ボランティアセンターに登録してボランティア活動をはじめてみませんか。
(問合せ先: 京丹後市社会福祉協議会本所65・2100)

善意のご寄附

あたたかいお気持ちをいただき、ありがとうございました。
(令和5年11月1日～令和5年11月30日受付分)

地域福祉事業へ

京丹後市高齢者大学久美浜学園

古典文学講座受講生 1,000円

唱歌を歌おう講座受講生 800円

株式会社ベルマリエ 様(峰山町菅) 3,000円(通算208回目)

ホールインワン基金を寄附

大宮町グラウンド・ゴルフ協会 4,200円

婚活に関するアンケートへの協力をお願い!

ポストコロナをふまえ、多様化する婚活の現状やニーズを知り、今後の婚活支援の在り方を検討するため、「婚活に関するアンケート」を実施いたします。

是非みなさまの率直なご意見、ご感想をお聞かせください。ご回答いただいた内容につきましては、今後の婚活支援の在り方の検討にのみ利用させていただきます。

QRコードを読み取っていただき令和6年1月25日(木)までにご回答ください

対 象：京丹後市在住・在勤の18歳以上の人



生活にお困りの世帯に無料で食品や日用品を配付するために。

食品や日用品の寄付をお願いします

食 品：米(令和3年以降)

賞味期限が2ヶ月以上のレトルト食品・缶詰・乾麺等、未開封・未使用・常温で保存可能なもの

※酒類(ノンアルコール飲料を含む)、自家製食品(みそ、漬物等)、野菜は不可。

日 用 品：洗剤・ティッシュペーパー・トイレットペーパー・生理用品・おむつ など

※未開封・未使用のみ

受付窓口：京丹後市社会福祉協議会本所又は各支所窓口
ファミリーマート峰山町杉谷店(受付は食品のみ)

問合せ先：京丹後市社会福祉協議会本所
0772-65-2100



職員
退採用
職用

採用

令和5年11月1日付

【ふくじゅ】 生活課 蒲田 里奈子 介護員

退職

令和5年12月31日付

【ふくじゅ】 中江 由季

川上の未来を語るタベ

「まちづくり作戦会議」

久美浜町の川上地区には、地区の現状や課題、そして将来像と実施計画などをまとめた「川上地区まちづくり計画書」があり、作成から10年たった昨年この計画の見直しを実施されました。

そして新たに、令和6年度から10年間の計画が作成され、この計画に基づき、自分たちができるまちづくりをより具体的に考え行動するため「川上の未来を語るタベ」が開催されました。

集まった参加者は、実施計画の中から取り上げられた関心の高いテーマごとに分かれ、解決策などを話し合い、その結果を会場全体で共有しました。

地域の「魅力アップ」を狙う班からは、川上観光商品づくりとしてガイドブックや案内板づくり、農村ステイなどの提案があり、「移住・人口確保」を話し合った班からは、子育て日本一を目指し、子育て支援事業や移住案内のデジ

タル版作成、仕事紹介などが提案されました。

また、いずれの課題解決においても、その拠点として川上小学校の活用が求められていました。

川上地区の恵まれた自然や文化を活かしながら、これらの暮らしに求められる川上地区づくりへの挑戦が動き出しています。



川上地区の将来について考える参加者

聞こえづらさも含めたわたしを大切に

「難聴児キッズサークル〇まる」

京丹後市に住む難聴児とその家族を対象としたサロンとして、「難聴児キッズサークル〇まる」が立ち上がりました。

このサロンは人工内耳や補聴器、手話などのコミュニケーションの手段を問わず、「聞こえにくさがある」という共通点を持つ子とその家族が対象で年齢制限は設けられていません。活動は、月に2回、網野町の島津ふれあいセンターを拠点に絵本の読み聞かせや、工作を通して参加者同士の交流や情報交換の機会を提供しています。

絵本の読み聞かせは、子どもたちの反応を見つつ手話を交えながら丁寧に進められ、参加者からとても好評です。また、オンラインで手話勉強会や懇親会も開催しており、直接サロン活

動に参加が難しい人にも喜ばれています。

代表の森さんは、「聞こえづらさも含めてわたしというアイデンティティを大事に育ってほしい」と、子どもたちの将来に期待を寄せています。



手を動かしながら参加者同士の会話が弾みます



DEAF_CIRCLE_MARU



難聴児キッズサークル
〇まる

発行 / 社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会

〒627-0111 京都府京丹後市弥栄町溝谷3464 TEL 0772-65-2100 FAX 0772-65-3294
http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotango/ E-mail: info@kyotango-shakyo.jp
FBアドレス https://www.facebook.com/kyotangoaitan
婚活支援センター「出会いは京丹後」専用HP https://www.deai-tango.com
京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ専用HP https://yasaka-fukujyu.jp/

峰山支所 (峰山総合福祉センター隣 TEL 62-4128)
大宮支所 (市大宮福祉会館内 TEL 64-2037)
網野支所 (網野健康福祉センター内 TEL 72-0797)
丹後支所 (市丹後庁舎内 TEL 75-0808)
弥栄支所 (市弥栄庁舎内 TEL 65-2100)
久美浜支所 (市久美浜庁舎内 TEL 82-0008)